

水泳選手の競技動機に関する研究

小 村 堯

広島大学総合科学部保健体育講座

(1986.10.31 受理)

A Study of Sports Motivation among Competitive Swimmers

Takashi KOMURA

Abstract

In order to measure the Competitive Motivation Level of competitive swimmers, we applied the TSMI Test, developed by the Japan Physical Education Association to competing swimmers from the Primary, Junior High and High Schools in Hiroshima Prefecture. The results were as follows:

- 1) In a comparison of males with females, males showed a higher scoring in the categories of 1...challenge to achieve a goal, 2...desire to improve skills, 3...overcoming difficulties, 4...orientation towards victory, 7...cool (rational) judgment, 8...psychological toughness, and 11...combative spirit, than females, leading one to deduce that they have a higher competitive drive. And further, females showed higher scores in 5...anxiety about failure and 6...anxiety about getting uptight, indicating that females are lacking in cool judgment and psychological power in competitive situations and are less able to exercise the ability to control their selves.
- 2) To study differences in age levels, we divided the competitors into the three groupings of Primary School, Junior High School and Senior High School. As a result, a significant difference was registered in 1...challenge of a goal, 4...orientation towards victory, 11...combative spirit and 13...lack of restraint, where, by actively challenging their goals and limitations as well as by determination to win in competition, Primary School students were rated the strongest, followed by Junior High, and then Senior High School students. And further, Primary School students took high scores in 7...cool judgment, 8...psychological toughness, etc. and showed emotional stability in competition. Moreover, 9...receptivity to coaching and 10...maladjustment to coaching showed primary School students demonstrating an affirmative reaction making clear that a good relationship existed between the competitors and their coaches.
- 3) With regard to the level of competition, comparisons were made between those taking part in national competitions and those who only take part in regional contests. The group who took part in national contests showed their superiority in 1...challenge to achieve a goal, 2...desire to improve skills, 3...overcoming difficulties, 4...orientation towards victory, 5...anxiety about failure, 6...anxiety about getting uptight, 7...cool judgment, 11...combative spirit, 12...intellectual interest, 13...lack of restraint and 16...planning. They show both a high level of resoluteness and an eagerness to achieve a fine record.

I 緒 言

良い競技成績をあげる上で、スポーツに取り組む選手の意欲と言うものは極めて重要な要素であると考えられる。特に水泳のように単調な動きの繰返しの運動の場合、水泳競技と言うスポーツに如何なる価値を見出し、その価値に対して如何なる努力をするかと言ったことが、その成果に大きく関わってくることは言うまでもない。杉原¹⁾は、「動機の強さは個人の持つ一般的潜在的な傾向であるが、これに価値意識や興味などの知的、または情意的要因が関与し、はじめて意欲的な行動として表出すると考える。」と述べている。いかに優れた肉体的な資質を持ち合わせたとしても、厳しい練習に耐え、多くの障害や困難を克服して意欲的に競泳に取り組む姿勢がなければ、折角の素質も開花させることはできないであろう。又、指導者は選手のやる気、競技意欲と言ったものを喚起させることは勿論のこと、水泳競技の選手としていかなる心理的適性を持ち合わせているかと言ったことを把握しておくことも、指導上欠かせない大切な要素と考える。

今回、日本体育協会が選手の競技動機を測定するために開発したTSMIテスト(日本体育協会競技動機調査: Taikyo Sport Motivation Inventory)を使って広島県下の小・中・高校生水泳選手の水泳競技に対する「意欲」について調査・検討を行ったので、その結果を報告する。

尚、TSMIは146項目の質問からなる質問紙法で、① 目標への挑戦 ②技術向上意欲 ③困難の克服 ④勝利志向性 ⑤失敗不安 ⑥緊張性不安 ⑦冷静な判断 ⑧精神的強靱さ ⑨コーチ受容 ⑩対コーチ不適応 ⑪闘志 ⑫知的興味 ⑬不節制 ⑭練習意欲 ⑮競技価値感 ⑯計画性 ⑰努力への因果帰属 ⑱応答の正確性の18の尺度で構成されている。回答は「A. よくあてはまる」、「B. ややあてはまる」、「C. あまりあてはまらない」、「D. まったくあてはまらない」の4つの選択肢から1つを選び、回答には4点から1点までの得点が与えられる。尺度の得点は、各尺度(①から⑱の尺度)を構成している質問項目(146項目あり、1つの尺度は8質問項目で構成)の得点を合計して求める方法である。

II 研究 方 法

a 調査対象

広島県水泳連盟に競技者登録をしている県下の小学生(5・6年)、中学生及び高校生の水泳選手(水球、シンクロナイズドスイミングの選手も含む)

b 調査方法

県水連登録団体(80団体)の代表者宛に質問紙、回答用紙及び実施マニュアルを郵送し、期限を定めて選手が回答したものを各団体でまとめて回収した。

c 調査期間

昭和60年10月～12月にかけて実施した。

d 集 計

テストを構成する18の尺度の中にそれぞれ含まれる質問項目の得点を合計し、各尺度の得点を求めた。尚、回答の次けた項目のあるもの、及び尺度「18. 応答の正確性」(質問への回答が不注意やいかげん、でたらめであったか否かをチェックする尺度)においてその得点が29点以下のものは集計の対象外とした(削除件数74)。

III 結果及び考察

各個人の得点を男・女、小・中・高校生、全国レベル大会出場者と地域大会出場者及び水球、シンクロナイズドスイミングのグループに分けて集計し(各グループの内訳は表1に示す)、そ

それぞれの平均値、標準偏差値を算出し、グループ間の比較検討を行った。又、図(1, 2, 3)は上記の方法で得た得点をTSMIの各尺度の評価基準表にそってプロットしたものである。

表2は男女について各尺度ごとの平均値、標準偏差の比較及びその有意差の検定結果を示したものである。又、図1は、表2の値をTSMI基準表に基づいてスタナイン得点に変換してプロフィール化したものである。

ここでは、1.目標への挑戦、2.技術向上意欲、3.困難の克服、4.勝利志向性 の各尺度において男子が女子よりも有意に高い得点を

表-1 対象者内訳

	年齢レベル		競技レベル	
競 泳 男 子 280名	小学生	123名	全国大会 出場者	42名
	中学生	94名	地域大会 出場者	238名
	高校生	63名		
競 泳 女 子 281名	小学生	99名	全国大会 出場者	29名
	中学生	73名	地域大会 出場者	252名
	高校生	109名		
水 球	23名			
シンクロ	5名			

表-2 TSMI各尺度得点の男女の比較

	男子(N=280)	女子(N=281)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	21.8(4.15)	20.6(3.76)	**
2 技術向上意欲	23.2(4.10)	21.9(3.66)	**
3 困難の克服	22.3(4.11)	21.5(3.97)	*
4 勝利志向性	19.4(4.84)	18.2(4.55)	**
5 失敗・不安	20.5(5.23)	22.9(4.93)	**
6 緊張性不安	19.0(4.59)	20.2(4.50)	**
7 冷静な判断	19.5(4.12)	17.7(4.01)	**
8 精神的強靱さ	21.1(3.84)	19.5(3.64)	**
9 コーチ受容	22.7(5.14)	22.1(4.86)	
10 対コーチ不適応	17.0(4.92)	17.2(5.66)	
11 闘 志	24.3(4.75)	22.2(4.82)	**
12 知的興味	21.4(5.37)	21.4(5.37)	
13 不 節 制	19.9(3.73)	20.0(3.46)	
14 練習意欲	17.2(4.10)	16.9(3.75)	
15 競技価値観	22.5(4.04)	22.4(3.66)	
16 計 画 性	19.2(3.92)	17.8(3.60)	**
17 努力への因果帰属	25.6(3.83)	25.4(3.53)	

** : $p < 0.01$

* : $p < 0.05$

示している。即ち、目標への挑戦の態度、自己の技能を向上させたいと言う思いや、幾多の困難に負けることなく克服してゆこうと言った競技意欲の主要な因子は男子の方が女子に比べて優れており、いわゆる「やる気」のあるのが伺える。又、7.冷静な判断、8.精神的強靱さ 11.闘志の尺度も男子が有意に上位を示し、女子に比べて試合場面において冷静な判断をしたり、不利な状況の中でも精神的な強さを発揮することができそうである。さらに、16.計画性の尺度においても男子が有意に優位を示し、試合のし方や練習についても見通しを持って計画的に行っているのが伺える。一方、5.失敗不安、6.緊張性不安では女子が高い値を示しているが、これは女子の場合、男子に比較して競技場面において過度に心配したり、緊張したりする度合いが高く、敗けはし

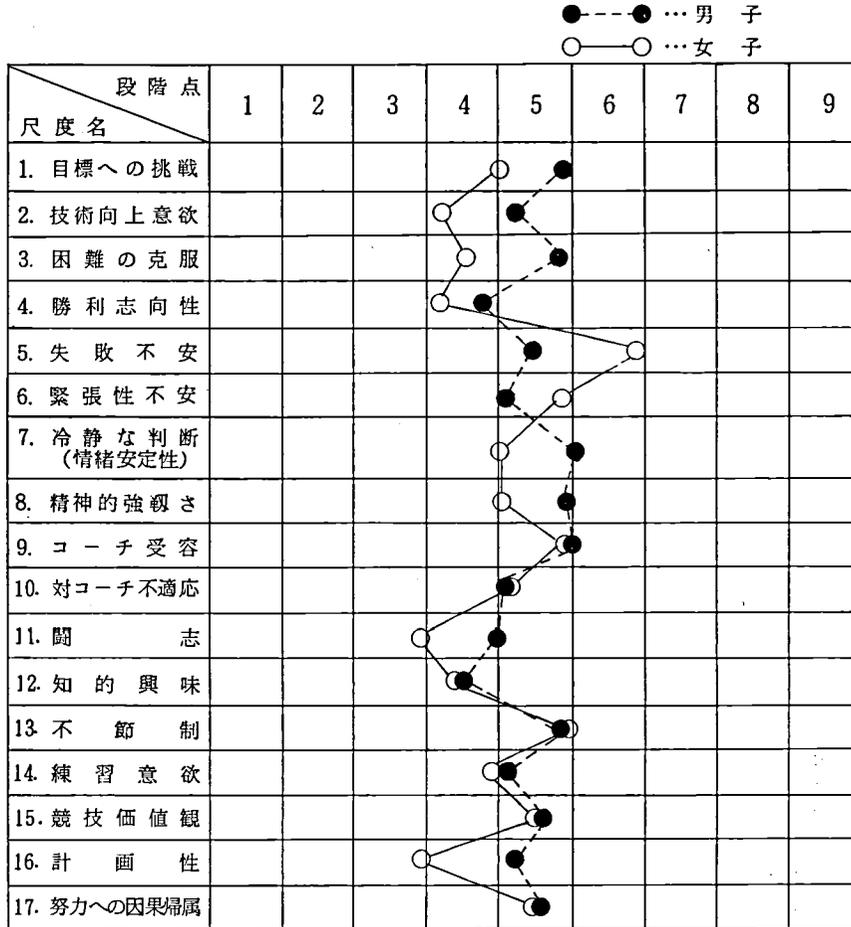


図1 広島県水泳選手のTSMI・男女プロフィール

ないか、失敗するのではないかと云った不安が増し、冷静な判断や精神的な強さに欠け、情緒的、感情的になりやすい傾向にあることを示している。

表3及び図2は小学生、中学生、高校生と年齢レベルで比較したものである。ここでは、まず、1.目標への挑戦、4.勝利志向性、13.不節制の各尺度に3グループ間でその得点に有意差が認められた。自己の目標や限界に積極的に挑む意欲や競技において勝とうとする意欲、あるいはそうした意欲の裏付けとしての生活習慣の良、否については小学生が最も優れ、次いで中学生、高校生の順となっている。対外的にも注目されはじめる年代の高校生に競技意欲が低い、と言った傾向のあることについては、低迷している広島県の競技成績を如実に示していることが推察されると同時に、小学生時代に持ち合わせている高い意欲をいかに持続させるかが今後課せられた課題と言えよう。又、5.失敗不安、6.緊張性不安の尺度、つまり、競技場面でつきまとう不安傾

表-3 TSMI各尺度得点の小・中・高校生の比較

	小学生(N=223)	中学生(N=147)	高校生(N=219)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	21.9(3.90)	21.0(3.75)	20.6(4.13)	**
2 技術向上意欲	22.7(3.83)	22.3(3.93)	22.7(4.05)	
3 困難の克服	22.3(4.17)	21.8(3.76)	21.7(4.02)	
4 勝利志向性	19.8(4.48)	18.8(4.63)	17.9(4.85)	**
5 失敗・不安	20.5(5.25)	21.7(5.23)	22.8(4.79)	**
6 緊張性不安	18.5(4.42)	19.8(4.60)	20.6(4.41)	**
7 冷静な判断	18.8(4.08)	18.5(3.63)	17.4(.408)	**
8 精神的強靱さ	20.9(3.64)	20.4(3.69)	19.5(3.89)	**
9 コーチ受容	24.1(4.39)	22.4(4.82)	20.2(4.96)	**
10 対コーチ不適応	15.5(4.54)	17.8(5.66)	18.5(5.25)	**
11 闘志	24.7(4.41)	22.4(4.60)	22.3(5.10)	**
12 知的興味	21.3(5.35)	20.6(5.30)	22.3(5.31)	*
13 不節制	19.3(3.58)	20.1(3.28)	20.5(3.56)	**
14 練習意欲	17.5(3.81)	16.5(3.48)	17.2(4.17)	
15 競技価値観	23.2(3.86)	21.8(3.67)	22.2(3.80)	**
16 計画性	18.7(3.82)	18.2(3.34)	18.7(4.01)	
17 努力への因果帰属	26.2(3.59)	25.1(3.86)	24.7(3.51)	**

** : $p < 0.01$ * : $p < 0.05$

向に対しても、小・中・高校の順に有意に高くなっている。5. 6. の尺度とは逆に競技場面で自己の力を充分発揮出来る精神的な力強さと言った面、つまり、7. 冷静な判断、8. 精神的強靱さ、11. 闘志の尺度においても小学生が最も高得点を示しており、競技場面においても情緒的な面で自己をコントロールする能力に優れていることが伺える。9. コーチ受容、10. 対コーチ不適応の尺度では、いずれも小学生に好しい傾向が見られ、コーチを信頼し、コーチの指示に対しても柔順で、コーチとの人間関係がうまく得られているようである。しかし、これが中・高校へと年齢が高くなるにつれて、コーチとの関係が好しくない方向へと進んでゆく傾向は、水泳競技がいくら個人競技のスポーツとは言え、技術的にも精神的にも、未だ支えの必要な年齢の段階でこのような傾向を示すことは競技意欲の問題も含めてコーチも選手も根本的に検討する必要性を感じる。一方、12. 知的興味、つまり、水泳に関する知的な情報に関心を示すか否かに関しては、高校生が最も高い得点を示し、水泳についての知識欲の深いことが示されている。更に、15. 競技価値感、17. 努力への因果帰属即ち、現在自分の取り組んでいる水泳というスポーツが自分にとって価値あるものと考え、さらに競技において良い成績や記録が出せたとか、技術的な向上は自分の努力によるものであると言った考え方においては小学生が最も高得点を示し、水泳に取り組むひたむきな姿勢が伺える。

表4及び図3は競技レベルについて、全国的なレベルの大会へ出場した選手とそれ以下のブロックレベル位までの大会に出場した選手との比較である。

1. 目標への挑戦、2. 技術向上意欲、3. 困難の克服、4. 勝利志向性、5. 失敗不安、7. 冷静な判断、11. 闘志、12. 知的興味、13. 不節制、16. 計画性 といずれの尺度も全国大会出場者の方が、いわゆる、やる気の面で高いものを示し、競技会で良い成績をあげよう、記録を向上させようと

●---● … 小学生
○---○ … 中学生
△---△ … 高校生

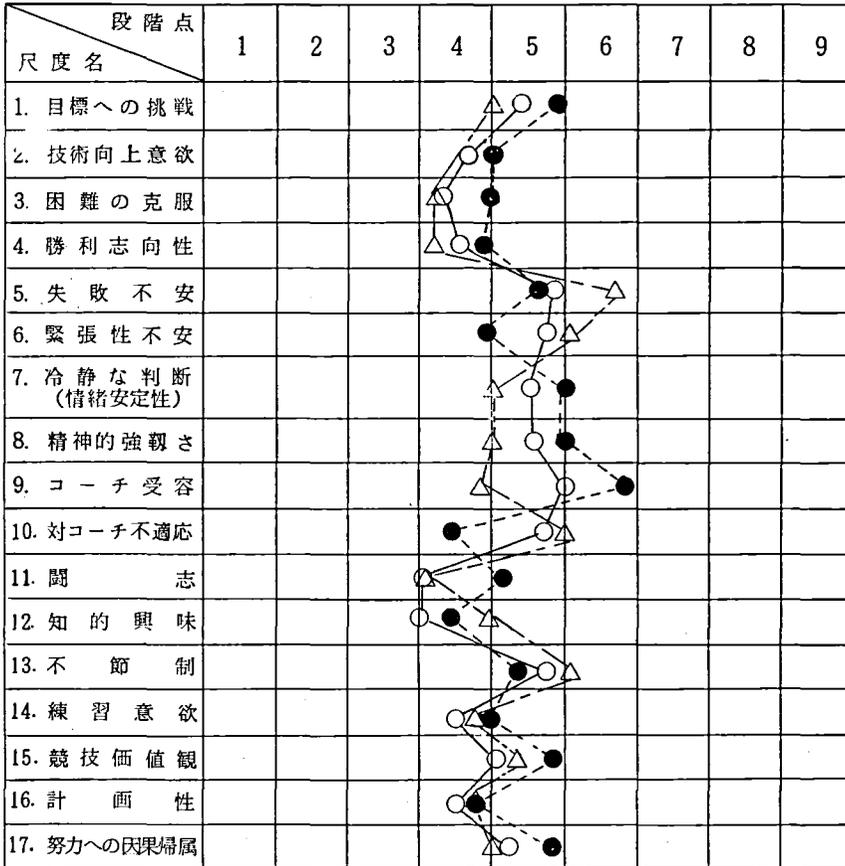


図2 広島県水泳選手のTSMI・小・中・高校生のプロフィール

言った水泳競技に対する意欲が見られ、又、競技場面における様々なプレッシャーに対する抵抗力も強く、冷静に状況判断も出来、強い闘争心も持ち合わせている。ただ、競技に対する知的な情報に対しても、関心が深く、練習や競技に際して、良いコンディションづくりを心がけ、しかも計画的に練習等に取り組もうと云った姿勢を示しながらも 14. 練習意欲 の尺度、つまり練習に対して意欲的にしかも持続的な取り組みが出来るか否かと言った最も根本的なところで、いずれのグループもその意欲に少し欠けるところがあり、しかも、グループ間にも差が見られない状況に対しては、これが直接競技成績と言う結果として表われるところから、選手と指導者の一丸となった取り組みが期待されるところである。一方、地域レベルの選手では生活習慣は、全国レベルの選手と変わらないが、経験不足のためか、試合等の緊張場面においては、不安の高まる傾向のあることが伺える。

表一 4 T S M I 各尺度得点の競技レベルによる比較

	全国大会出場者 (N=90)	地 域 大 会 (N=499)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	22.7(3.72)	20.9(3.97)	**
2 技術向上意欲	23.7(3.86)	22.4(3.92)	**
3 困難の克服	23.2(3.94)	21.7(3.99)	**
4 勝利志向性	21.4(4.58)	18.4(4.59)	**
5 失敗・不安	19.9(5.54)	22.0(5.01)	**
6 緊張性不安	18.8(5.12)	19.7(4.45)	
7 冷静な判断	19.7(4.23)	18.4(4.06)	**
8 精神的強靱さ	20.7(4.13)	20.2(3.74)	
9 コーチ受容	22.5(4.86)	22.2(5.02)	
10 対コーチ不適応	17.6(4.90)	17.1(5.36)	
11 闘 志	24.8(4.31)	22.9(4.88)	**
12 知的興味	24.1(4.65)	21.0(5.33)	**
13 不 節 制	18.8(3.20)	20.1(3.55)	**
14 練習意欲	18.0(3.62)	17.0(3.90)	
15 競技価値観	23.3(3.68)	22.3(3.86)	
16 計 画 性	19.8(2.82)	18.3(3.90)	**
17 努力への因果帰属	25.2(3.60)	25.4(3.72)	

** : $p < 0.01$ * : $p < 0.05$

表5は男子について、小・中・高校生のレベルで比較したものである。グループ間で差異の見られたものは、9. コーチ受容、10. 対コーチ不適応、で学年が低くなる程、コーチに対する信頼感が高く、コーチの指示に対しても柔順でコーチとの人間関係がスムーズにしている様である。

その他 11. 闘志、でも小学生が最も有意に高く、試合に臨んで、又、せり合等の場面でファイティングスピリットのあるところを見せている。又、試合や練習に対して良いコンディションで臨むべく生活習慣もきちんとしており、まじめに水泳競技へ取り組んでいるのが伺える。

一方、女子では(表6) 1. 目標への挑戦、4. 勝利志向性、5. 失敗不安、6. 緊張性不安、7. 冷静な判断、8. 精神的強靱さ 9. コーチ受容、10. 対コーチ不適応、11. 闘志、14. 練習意欲、15. 競技価値感に小学生が有意に最も高い得点を示し、次いで、殆んどの尺度で中・高の順となり、小学生が最もやる気があり、勝利を志向し、試合場面においても自己を統制する能力にすぐれ、水泳競技そのものに対する価値感も高い様である。又、コーチとの関係も良好の様である。

表7・8は競技レベルを全国大会出場者と地域レベルの大会出場者について、男女別に見たものである。

男女とも競技達成動機の尺度ではほぼ同様の傾向を示し、全国大会出場者が意欲があり計画性もあり、生活習慣もしっかりしていて勝利を志向している。ただ、試合場面における緊張とか不安と言った傾向は、男子では、グループ間に差は見られ地域レベルの男子が劣っているものの、尺度得点では、女子の方が大きく上廻っており、競技場面で自己を統制する能力は地域レベルの男子より全国大会出場の女子選手の方が劣っている様である。又、コーチに対する信頼感やコーチの指示に対する柔順さは、男子のグループ間には差は認められないが、女子では全国大会出場

●---●... 地域大会出場者
○---○... 全国大会

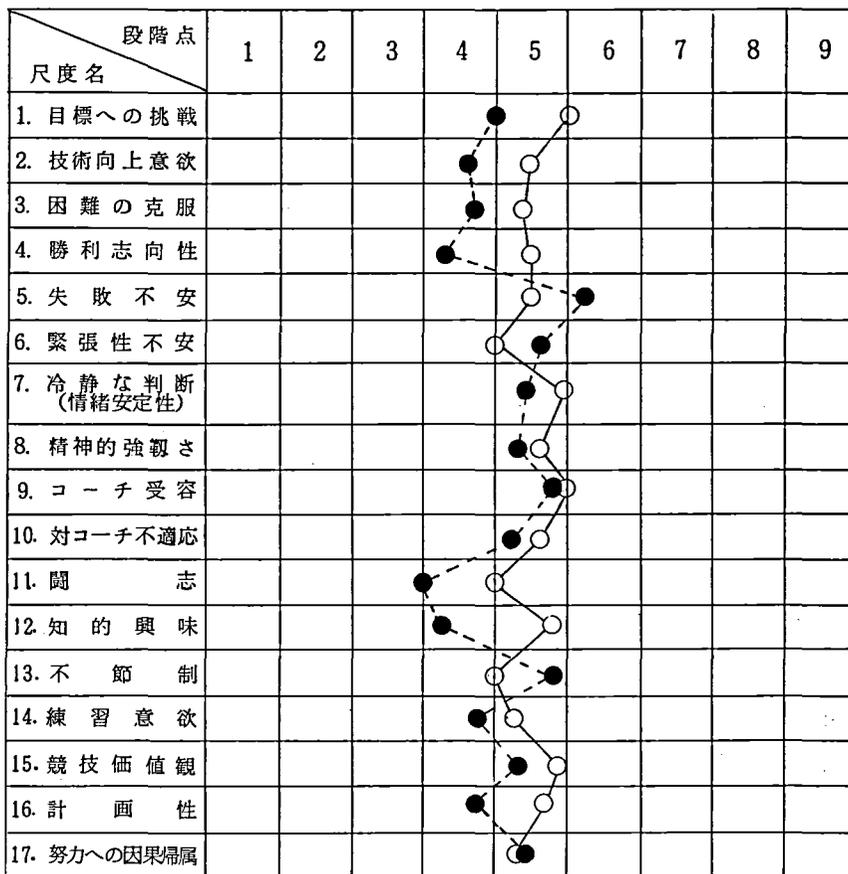


図3 広島県水泳選手のTSMI・全国大会・地域大会出場者のプロフィール

者が有意に高く、しかも、その得点はかなり高いところから、女子選手には特に信頼できる指導者の存在が競技レベルに大きく関わっていることが伺える。

表9は水球選手の各尺度得点である。対象となった選手が全て高校生であるところから、表5の男子高校生と比較してみると、4.勝利志向性、12.知的興味に水球選手がやや高い得点を示すと共に、9.コーチ受容、10.対コーチ不適応の尺度では逆に否定的な反応を示し、指導者との関係がうまくいっていない様子が伺える。他の尺度では殆んど差は認められない。

又、表10はシンクロナイズドスイミングの選手の得点を示すものである。シンクロは未だ競技人口も少なく、特に県内には他のチームがなく、対外試合と言えば県外で行われると言う状況にある。今回の対象者は5名と少く、小中学生が含まれるので表2の女子と比較してみた。これによると、4.勝利志向性、11.闘志、12.知的興味、17.努力への因果帰属の尺度以外では全て肯定

表-5 TSMI各尺度得点の男子学年別の比較

	男子小学生 (N=123)	男子中学生 (N=63)	男子高校生 (N=94)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	22.0(3.97)	21.7(3.92)	21.5(4.53)	
2 技術向上意欲	22.9(4.03)	23.1(4.23)	23.6(4.18)	
3 困難の克服	22.6(4.13)	22.0(3.75)	22.2(4.27)	
4 勝利志向性	20.1(4.58)	19.4(5.16)	18.6(4.79)	
5 失敗・不安	19.8(5.14)	20.7(5.60)	21.3(4.92)	
6 緊張性不安	18.3(4.20)	19.4(5.25)	19.8(4.51)	
7 冷静な判断	20.0(4.17)	19.3(3.72)	18.9(4.22)	
8 精神的強靱さ	21.1(3.81)	21.5(3.25)	20.7(4.17)	
9 コーチ受容	24.6(4.33)	22.7(4.97)	20.1(5.17)	**
10 対コーチ不適応	15.6(4.60)	17.5(4.93)	18.6(4.84)	**
11 闘志	25.1(4.19)	23.4(4.87)	23.9(5.23)	*
12 知的興味	21.6(5.45)	20.3(5.19)	21.9(5.34)	
13 不節制	19.3(3.69)	20.1(3.57)	20.7(3.73)	*
14 練習意欲	17.3(3.75)	16.3(3.76)	17.7(4.57)	
15 競技価値観	23.0(3.98)	21.7(3.87)	22.4(4.19)	
16 計画性	19.0(3.97)	18.9(3.31)	19.5(4.25)	
17 努力への因果帰属	26.3(3.67)	25.5(4.06)	24.6(3.70)	**

** : $p < 0.01$ * : $p < 0.05$

表-6 TSMI各尺度得点の女子学年別の比較

	女子小学生 (N=99)	女子中学生 (N=73)	女子高校生 (N=109)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	21.8(3.81)	20.3(3.40)	19.7(3.58)	**
2 技術向上意欲	22.4(3.61)	21.4(3.36)	21.9(3.78)	
3 困難の克服	21.8(4.19)	21.4(3.87)	21.2(3.77)	
4 勝利志向性	19.5(4.33)	18.3(4.32)	16.9(4.52)	**
5 失敗・不安	21.4(5.25)	22.9(4.76)	24.4(4.30)	**
6 緊張性不安	18.7(4.68)	20.3(4.04)	21.4(4.26)	**
7 冷静な判断	19.6(4.0)	17.7(3.43)	15.9(3.52)	**
8 精神的強靱さ	20.7(3.39)	19.3(3.79)	18.5(3.47)	**
9 コーチ受容	23.6(4.32)	22.2(4.79)	20.6(4.85)	**
10 対コーチ不適応	15.4(4.49)	18.2(6.37)	18.2(5.67)	**
11 闘志	24.2(4.57)	21.5(4.39)	20.8(4.69)	**
12 知的興味	20.9(5.20)	20.5(5.49)	22.6(5.26)	*
13 不節制	19.4(3.54)	20.3(3.10)	20.5(3.53)	
14 練習意欲	17.6(3.84)	16.3(3.24)	16.6(3.82)	*
15 競技価値観	23.4(3.69)	21.7(3.58)	21.9(3.55)	**
16 計画性	18.2(3.60)	17.5(3.41)	17.8(3.71)	
17 努力への因果帰属	26.2(3.47)	25.2(3.67)	24.8(3.40)	*

** : $p < 0.01$ * : $p < 0.05$

表一 7 T S M I 各尺度得点の男子競技レベルによる比較

	男子全国大会 出場者(N=42)	男子地域大会 (N=238)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	23.6(3.71)	21.4(4.17)	**
2 技術向上意欲	24.3(3.86)	23.0(4.14)	
3 困難の克服	23.6(4.33)	22.1(3.99)	*
4 勝利志向性	21.1(5.17)	19.1(4.70)	*
5 失敗・不安	18.5(5.98)	20.9(4.98)	**
6 緊張性不安	17.7(5.56)	19.3(4.39)	*
7 冷静な判断	20.8(4.43)	19.2(4.02)	*
8 精神的強靱さ	21.9(4.19)	20.9(3.72)	
9 コーチ受容	22.7(5.54)	22.7(5.08)	
10 対コーチ不適応	17.8(5.74)	16.9(4.75)	
11 闘 志	25.5(4.62)	24.1(4.75)	
12 知的興味	23.8(4.85)	21.0(5.36)	**
13 不 節 制	18.5(3.69)	20.2(3.66)	**
14 練習意欲	17.7(4.10)	17.2(4.07)	
15 競技価値観	23.7(4.12)	22.3(4.02)	*
16 計 画 性	20.0(3.19)	19.0(4.04)	
17 努力への因果帰属	25.6(3.26)	25.5(3.96)	

** : P > 0.01

* : P > 0.05

表一 8 T S M I 各尺度得点の女子競技レベルによる比較

	女子全国大会 出場者(N=29)	女子地域大会 (N=252)	検定結果
	Mean (SD)	Mean (SD)	
1 目標への挑戦	22.2(3.18)	20.4(3.74)	*
2 技術向上意欲	22.7(3.66)	21.8(3.63)	
3 困難の克服	22.9(3.52)	21.3(3.95)	*
4 勝利志向性	21.9(3.97)	17.8(4.40)	**
5 失敗・不安	22.0(5.20)	23.0(4.89)	
6 緊張性不安	20.3(4.95)	20.1(4.47)	
7 冷静な判断	18.7(4.15)	17.6(3.96)	
8 精神的強靱さ	19.3(4.00)	19.5(3.63)	
9 コーチ受容	24.3(2.88)	21.8(4.97)	**
10 対コーチ不適応	16.2(3.76)	17.3(5.83)	
11 闘 志	24.8(3.96)	21.9(4.78)	**
12 知的興味	24.5(4.51)	21.1(5.37)	**
13 不 節 制	18.8(2.78)	20.2(3.48)	*
14 練習意欲	17.6(3.00)	16.8(3.79)	
15 競技価値観	23.1(3.34)	22.3(3.74)	
16 計 画 性	19.2(2.51)	17.7(3.66)	*
17 努力への因果帰属	26.0(3.85)	25.3(3.53)	

** : p < 0.01

* : p < 0.05

表一9 水球選手のTSMI各尺度
得点

	水球(N=23)
	Mean (SD)
1 目標への挑戦	21.2(4.03)
2 技術向上意欲	23.1(3.91)
3 困難の克服	22.2(3.61)
4 勝利志向性	20.5(4.46)
5 失敗・不安	20.5(3.50)
6 緊張性不安	19.8(3.68)
7 冷静な判断	18.1(3.16)
8 精神的強靱さ	19.9(3.14)
9 コーチ受容	19.0(3.78)
10 対コーチ不適応	19.7(3.93)
11 闘志	23.1(3.66)
12 知的興味	23.4(4.29)
13 不節制	19.2(2.37)
14 練習意欲	18.6(3.21)
15 競技価値観	22.6(2.95)
16 計画性	19.6(2.62)
17 努力への因果帰属	23.1(2.98)

表一10 シンクロ選手のTSMI
各尺度得点

	シンクロ(N=5)
	Mean (SD)
1 目標への挑戦	22.6(1.74)
2 技術向上意欲	24.4(2.94)
3 困難の克服	24.4(1.02)
4 勝利志向性	18.2(4.75)
5 失敗・不安	21.4(4.54)
6 緊張性不安	18.8(3.76)
7 冷静な判断	20.4(3.01)
8 精神的強靱さ	22.4(1.02)
9 コーチ受容	24.2(2.48)
10 対コーチ不適応	11.6(1.36)
11 闘志	22.0(3.10)
12 知的興味	20.0(4.86)
13 不節制	18.6(1.62)
14 練習意欲	17.8(1.60)
15 競技価値観	24.0(1.90)
16 計画性	20.6(2.06)
17 努力への因果帰属	24.0(3.41)

的反応を示し、競技意欲も高く、特に、コーチとの関係が極めて良好な状態にあるのが、他のグループとの大きな相違点である。コーチの人柄や技術力、熱意等が感じられると共に、選手達がコーチを信頼し、水泳にひたむきに取り組んでいるのが伺える。

IV 要 約

水泳選手の競技動機を測定するために、日本体育協会の開発したTSMIテストを広島県下の小・中・高校の水泳選手に実施した。その結果、

① 男女間の差異については、1.目標への挑戦、2.技術向上意欲、3.困難の克服、4.勝利志向性、7.冷静な判断、8.精神的強靱さ、11.闘志などの尺度において、男子が高得点を示し、女子に比べ競技意欲は高いレベルにあることが伺える。又、5.失敗不安、6.緊張性不安の尺度では女子が高値を示し、競技場面においては女子が冷静な判断や精神的強さに欠け、自己をコントロールする能力に劣っていることが示された。

② 年齢レベルによる差異については、小・中・高校のグループに分類して検討した。その結果、1.目標への挑戦、4.勝利志向性、11.闘志、13.不節制の各尺度において3グループ間の得点に有意差が認められ、自己の目標や限界に積極的に挑み、競技においても勝とうとする意欲は小学生が最も高く、次いで中・高校生の順であった。又、冷静な判断、8.精神的強靱さなどの尺度でも小学生が高得点を示し、競技場面でも情緒的に安定したものが見られた。更に、9.コーチ受容10.対コーチ不適応の尺度も小学生に肯定的な反応が見られ、コーチとの人間関係が円滑に行われているのが伺えた。

③ 競技レベルについては、全国大会出場者とそれ以下の地域大会出場者のグループに分けて検討した。1.目標への挑戦、2.技術向上意欲、3.困難の克服、4.勝利志向性、5.失敗不安、6.緊張性

不安, 7. 冷静な判断, 11. 闘志 12. 知的興味, 13. 不節制, 16. 計画性 の各尺度で優位を示すように, 全国大会出場者のグループが, いわゆる「やる気」の面で高いものを示し, 良い成績を上げるため, 良い記録を出すことへの意欲が伺え, また, 競技場面においても, 情緒的に安定した状態で試合に臨んでいる様である。

④ 男子(女子も同様)グループをさらに, 小・中・高校生の年齢レベルや全国大会出場者とそうでない者の競技レベルについても比較したが, ①, ②, ③とほぼ同様の結果を示した。

⑤ 水球選手は高校の男子が対象であったところから, 競泳男子高校生と比較してみたところ, 4. 勝利志向性, 12. 知的興味 の尺度で水球選手のグループが高い得点を示し, 9. コーチ受容, 10. 対コーチ不適應の尺度では逆に否定的反応を示していた。

⑥ シンクロナイズドスイミングのグループは女子全体のグループと対比してみた結果, 4. 勝利志向性, 11. 闘志, 12. 知的興味, 17. 努力への因果帰属の尺度以外では, シンクログループが全て肯定的反応を示し, 特にコーチとの信頼関係が極めて良好な状態に保たれていることが注目された。

参 考 文 献

- 1) 松田岩男他 「スポーツ選手の心理的適性に関する研究—第3報—」昭和56年度日本体育協会スポーツ科学研究報告, 1~39, 1981
- 2) 松田岩男他 「スポーツ選手の心理的適性に関する研究—第4報—」昭和57年度日本体育協会スポーツ科学研究報告, 1~73, 1982
- 3) 坂井 学他 「サッカー選手の競技動機に関する研究」広島体育学研究第11号, pp. 33~46, 1985
- 4) 財満義輝他 「競技前・競技中の心理要因に対する選手と監督・コーチの評価」日本スポーツ心理学研究, 第11巻第1号, pp. 58~62, 1984